

岡崎市環境部ごみ対策課

岡崎ガラス工房 葵



はじめに -岡崎ガラス工房葵の40年のあゆみ-

1983年(昭和58年)、まだ“リサイクル”という言葉が生活に身近なものではなかった頃、全国自治体に先駆け、岡崎市八帖グリーンセンター内に空きびんの再利用を行うガラス工房が誕生しました。

そのきっかけは親善都市である沖縄県石垣市を訪問した中根鎮夫市長(当時)が、廃びんを原料としながらも伝統工芸の域へと昇華された『琉球ガラス』に感銘を受けたことから始まります。

市内で回収された空きびんの有効活用を念頭に、ガラス工芸を通じたリサイクル活動を行うことで、環境意識へのきっかけの場となることを目指し、岡崎市役所環境部による運営が始まりました。

その後、1995年(平成7年)にガラス工房は緑豊かな木々に囲まれた中央グリーンセンター(現:リサイクルプラザ)へ場所を移し、新たな世代のスタッフの入所、設備の拡充とともに、工房名を『岡崎ガラス工房葵』とし、再スタートを切ります。

ガラス工芸を行う上で、冷えるのが速いという難しさを持つ空きびんでのガラス工芸。新施設での利用者の増加に伴い、市の施設として、『工房を利用する全てのひとが親しむことができるガラスの素地作り』という課題に、より一層取り組む必要がありました。調合の実験、各所へのリサーチ、試行錯誤を繰り返し、リサイクルガラス特有の触感や色味といった魅力を残しながらも、工芸素材として安定して使用することのできる、岡崎市ならではの調合にたどり着き、“吹きガラス”だけではない新たな講座の開設やイベントの開催が可能となりました。

また、この岡崎市のユニークなリサイクル活動への取り組みを発信するため、ガラス工房葵の制作したガラス工芸品の販売を開始。道の駅藤川宿、岡崎公園みやげ店、岡崎市美術博物館ミュージアムショップなど、市内各所で多くのかたに手に取っていただく場を設けています。

空きびんを再利用したガラス工芸による創造、交流、発信の場として発展し、多くのかたに親しまれて、岡崎ガラス工房は、2023年(令和5年)に開所40年を迎えることができました。

本市のこれらの活動を継続し、積み重ねることはみなさまのご理解なしでは成立し得ません。ご支援くださる全てのみなさまに改めて感謝申し上げます。

岡崎市のリサイクルガラス。ぜひ陽にかざしてみてください。淡くやわらかな優しい光を今日も放ちます。

もくじ

はじめに

空きびんがリサイクルガラスになるまで

岡崎ガラス工房 葵で体験できるガラス工芸

岡崎ガラス工房 葵の作品

- ・春
- ・端午の節句
- ・夏
- ・秋
- ・冬
- ・干支
- ・桃の節句
- ・通年商品
- ・ホテル学校
- ・東公園
- ・岡崎市旧本多忠次邸
- ・市政記念品

ガラス工芸品販売店一覧





空きびんがリサイクルガラスになるまで



空きびんは、正しく分別することで貴重な資源となり、再び利用することができます。岡崎ガラス工房葵では、リサイクルできるガラスの特性をより身近に感じていただくため、家庭から出た空きびんを再利用したリサイクルガラスで、工芸品の制作や販売、体験講座やイベントを行っています。

① 空きびんの洗浄

市内でごみとして出された空きびんは、収集後に市の選別施設へ運ばれます。そこで安定した品質のものを選別し、使用する分のみをガラス工房へ運びます。その後、ガラス工房でラベル等をはがしてきれいに洗浄します。



市内で回収された空きびん

② 溶解炉で空きびんを溶かす

洗浄した空きびんは溶解しやすいように破碎した後、ガラス工芸がしやすくなる調合材と合わせ、1,400℃の溶解炉で溶かします。

この時、工芸品制作時に出た透明なガラスくずも、ごみにせず、再び溶かして素地に戻します。



高温の溶解炉

③ ガラス工芸

溶解炉で溶かしたガラスを、金属の棒に巻き付け、工芸品を制作します。リサイクルガラスは冷めるのが速いという特徴があるため、素早く細工し、焼き直し用の炉で何度も温め直しながら制作を行います。



一つ一つ手作りで制作

④ 発生した副産物も無駄にしない

岡崎ガラス工房葵では、リサイクルできるガラスの特性を活かし、工房内でもさらなるリサイクルを行っています。

透明なガラスはもう一度溶かして使用し、色のついたガラスくずは色ごとに分別し、ガラススタイルにします。

夏休み工作体験や出張ワークショップ、環境教室の材料として使用しています。一粒一粒の大きさ、形、色合いはリサイクルガラススタイルでしか表現できない個性があります。



色とりどりのガラススタイル



岡崎ガラス工房 葵で体験できるガラス工芸



ホットワーク



吹きガラス

金属製のパイプの先端に溶けたガラスを巻き付け、息を吹き込んで形を作る。

ソリッドワーク

金属製の無垢の棒に溶けたガラスを巻き、息を吹き込まず、塊のまま、道具を使って成形する。

キルンワーク



フュージング

板状、粒状、棒状のガラスをカットし、重ね合わせ電気炉で約750°Cの温度で焼成し、溶着させる技法。



パート・ド・ヴェール

粘土で原型を作り、耐火石膏型を作る。
型に粉状の透明なガラスと色ガラスを調合したものを詰め（ガラスの塊を詰めるものはキャストイングという）、電気炉で焼成する。

コールドワーク



サンドブラスト

圧縮空気のカでガラスに砂を吹き付け、ガラスの表面を削り、擦りガラス状に曇らせる技法。シールやボンドでマスキングして、図柄を彫刻する。

春



舞桜のぐい呑み (6×7.5×7.5cm)

¥ 1,600



てんとうむしの箸置き (0.8×3×5cm)

¥ 500



桜の箸置き (2×5×5cm)

¥ 800



舞藤のぐい呑み (6×7.5×7.5cm)

¥ 1,600



かぶと (8.5×10.5×9cm)

¥ 2,800

端午の節句



かぶとのペーパーウェイト (7.5×7×5cm)

¥ 2,000



かぶとのペーパーウェイト (7.5×7×5cm)

¥ 2,000



こいのぼり (5×9×4cm)

¥ 1,600



こいのぼり家族 (9×10×5cm)

¥ 2,400

夏

風鈴

(全体38cm)(風鈴部分 8×φ8cm)



¥ 2,000



シロクマ (6.5×10×4.5cm)

¥ 2,000



ジンベイザメ (7×4×10cm)

¥ 2,000



金魚 (3.5×5.5×8cm)

¥ 1,200



水風船のペーパーウェイト (6.5×φ5.5cm)

¥ 1,200

パンプキン (φ8、H8.5cm)

¥ 1,500



秋

おばけ (6.5×6×4.5cm)

¥ 1,200



ジャックランタン ペーパーウェイト (φ6、H8.5)

¥ 1,200

冬



クリスマスツリー 大(8×φ6cm)
小(5.5×φ4.5cm)

大 ¥1,600 小 ¥800



ゆきだるま (8.5×6×5.5cm)

¥1,200

トナカイ (9.5×6.5×5.5cm)

¥1,600



さんた (9×6×5.5cm)

¥1,600



家のペーパーウェイト (9×6×4cm)

¥2,000

干支

¥2,400

子 丑 寅
卯 辰 巳
午 未 申
酉 戌 亥

干支



桃の節句



葵雛 (7×6×5.5cm)

¥ 1,600



小雛 (男雛7.5×5.5×4.5cm) (女雛5×5×4cm)

¥ 2,400



彩雛 (男雛9×5.5×5.5cm) (女雛7×5.5×5.5cm)

¥ 3,200



立ち雛(大) (男雛14.5×8×4.5cm) (女雛12×5.5×4.5cm)

¥ 6,400



岡崎城 (3.5×5.5×8cm)

¥ 4,000

通年商品



オカザえもん Jr. (3.5×5.5×8cm)

¥ 1,400

オカザえもん (3.5×5.5×8cm)

¥ 1,600

オカザえもん
10周年記念カラー



オカザえもん 10colors (3.5×5.5×8cm)

¥ 2,000



季節によって
モチーフが
変わります

だるま(季節) (3.5×5.5×8cm)

¥ 2,000

ホタル学校



ホタルボウル

¥ 2,000



笹ホタルの箸置き

¥ 400



ホタルグラス

¥ 1,200



ホタルのぐい呑み

¥ 1,200



ホタル花器

¥ 1,200



ティラノザウルス (6×7.5×7.5cm)

¥ 4,000

東公園



ゾウ (7×7×8cm)

¥ 1,600



恐竜のタマゴ (6.5×5×5cm)

¥ 800



旧本多忠次邸

徳川四天王・本多忠勝を始祖とする旧岡崎藩主本多家の末裔、本多忠次が設計・デザインをした昭和の洋館。建物内外に意匠を凝らした邸宅で『涼月祭』、『ひなまつり』などを開催。
不定期で岡崎ガラス工房葵のガラス作品が展示されます。



市政記念品



かぶと(金陀美具足)

大河ドラマ「どうする家康」ドラマ館来場20万人記念品

岡崎ガラス工房 葵では運営主体が行政という特性を活かして観光・教育・保健など、環境以外の分野でも市政記念品の制作に携わっており、様々な場面で環境啓発を行っています。



岡崎市環境ポスターコンクール

受賞記念品(フォトフレーム、ペーパーウェイト)



東公園 写生会・フォトコンテスト

受賞記念品(動物型トロフィー、ペーパーウェイト)



岡崎健康宣言優良事業所

受賞記念品
(保健所キャラクター「まめ吉」型トロフィー)



岡崎市パートナーシップ

・ファミリーシップ制度

登録記念品(レインボーカラーの箸置き)

ガラス工芸品
販売店一覧

道の駅 藤川宿

岡崎市藤川町字東沖田44番地
9:00～18:00(年中無休)
☎ 0564-66-6031

岡崎公園内 観光みやげ店 おかざき屋

岡崎市康生町561-1
9:00～17:00(年中無休)
☎ 0564-24-4771

デイリーヤマザキ 岡崎市役所店

岡崎市十王町二丁目9番地
7:00～20:00(土日祝休み)
☎ 0564-25-3716

東公園 売店

岡崎市欠町大山田1
9:00～15:30 (月休)
☎ 0564-27-0456

岡崎ホテル学校

岡崎鳥川町字小デノ沢5-1
9:00～16:30 (火休) ※ホテルまつり期間中は21:00まで営業
☎ 0564-82-3027



岡崎ガラス工房 葵(工房直売)

岡崎市高隆寺町字阿世保5番地
9:00～16:00 (土日祝休み)
☎ 0564-26-5300



Facebook

岡崎ガラス工房 葵 

〒444-0002

岡崎市高隆寺町字阿世保5番地 リサイクルプラザ内

TEL 0564-23-6723 FAX 0564-25-8153

営業時間 9:00～16:00 (土・日・祝日、年末年始は休み)



Facebook